

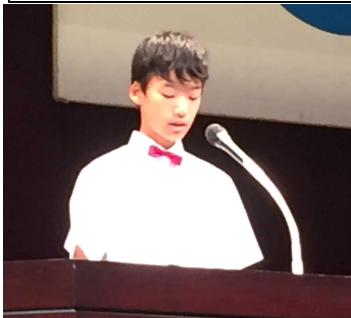


平成31年（令和元年）度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎKids NO. 2 1

令和元年 6 月 2 7 日

文責:校長 大内 雅之



川俣町青少年の主張大会 ～「ぼくのふるさと」～

6 月 2 2 日（土）に町中央公民館にて青少年の主張大会が開かれました。本校からは 6 年の橋本琉伽さんが「ぼくのふるさと」という発表をしてくれました。福田のよさ（自然、人）、アンスリウムの学習を通して考えたこと等を

堂々と発表してくれました。20 日の全校集会で、リハーサルを兼ねて全校生の前で発表し、本番に備えたかいもあり、落ち着きある立派な発表でした。本当にお疲れ様でした。

また、会場には、たくさんのアンスリウムが飾られており、町全体で PR に力を入れてきているのがよくわかります。福田小としてもがんばります。

水泳授業 本格スタート ～特別非常勤講師を迎えて～

20 日は梅雨の晴れ間も見えるまずまずの天候の中、県北水泳連盟から宍戸洋美先生をお迎えして、水泳授業を行っていただきました。今シーズン、初めてとなる水泳授業でしたが、昨年度までも何度も指導いただいている顔見知りの先生ということもあり、子どもたちは元気に取り組みました。町の水泳大会にむけた 5・6 年生の水泳練習も始まりました。さあ、いよいよ水泳シーズンの本格スタートです。

子どもたちがどこまで上達するか、楽しみです。



第 1 回放射線教室 ～正しく知って、 正しく恐がるために～

27 日、環境省の協力を得て、全校生、低・中・高学年別に放射線教室を実施しました。講師は、原子力安全研究協会参与の松原昌平先生。

子どもたちは放射線の専門家の先生の話を興味深く聞いていました。そして、たくさんの質問もしていました。学年の系統性も考え、低学年は放射線の基礎知識に関するものをクイズ形式で、中学年は放射線の観察を「霧箱」作成を通して、高学年は身の回りのいろいろなものの放射線量の測定を通して放射線を学びました。福島に生まれ、福島とともに生きるものとして「放射線の理解」は不可欠なものと考えます。貴重な時間となりました。9 月には第 2 回の放射線教育を予定しています。



保護者・地域の皆さんの声を聞かせてください

..... 切り取り線

※皆さんからの「声」が少しずつ届きはじめました。ありがとうございます。もう少しまったらご紹介したいと思っています。